

登録No. S-078
 登録名 Triweekly HER/weekly PAC併用療法
 催吐性リスク 軽度
 適応疾患 胃癌
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	トラスツズマブ 生食	※初回 8mg/kg 2回目以降 6mg/kg 250mL/body		d1	d.i.v.	初回90minで忍容性良好であれば2回目以降30minまで短縮可	weekly PACとは関係なく3週ごとに投与。
Rp.1	ファモチジン デキサメタゾン リン酸カルフェニジン 生食	20mg/body 6.6mg/body 5mg/body 100mL/body		d1・8・15	d.i.v.	30min	前投薬
Rp.2	パクリタキセル 生食	80mg/m ² 250mL/body		d1・8・15	d.i.v.	1hr	前投薬30分後より投与開始粘調度高いため、輸液総量の1.5倍量をDrip-eyeに設定

1クルルの期間 triweekly HER:3週間 weekly PAC:4週間
 その他（副作用・PS規定等）

注意： triweekly HERとweekly PACはそれぞれ独立したレジメンとして投与されるので、投与日がずれます。
 多剤併用療法でTrastuzumab以外の薬剤で副作用が起きた場合はTrastuzumabのみ単独で投与することが望ましい。
 Trastuzumabが投与予定日より1週間を超えた後に投与する際は、改めて初回投与量の8mg/kgで投与。

PAC中止基準： PS3以上、Nutr：1000/mm³以下、Plt50000/mm³以下、血清Bil：2.0mg/dL以上、
 口内炎・悪心・嘔吐Grade2以上、神経障害・関節痛・筋肉痛などの非血液毒性Grade3以上、
 感染を伴う38度以上の発熱

HER中止基準： Grade3以上のアレルギー反応、アナフィラキシー反応、Infusion reaction
 PAC副作用： 骨髄抑制、心毒性、神経毒性
 PAC投与時： 初回投与時は心電図モニターを用いる。ノンラフィル付きDEHPfreeの輸液セットを用いる。

HER原則禁忌（慎重投与）： 重篤な心障害のある患者
 HER投与時： infusion reactionが見られた場合は投与中止。
 （再開時期について特に規定は無いが臨床症状をよくみて軽度なら継続投与可。）
 infusion reaction時、解熱鎮痛剤、抗ヒスタミン剤、重症時はO₂投与、ステロイド